

2015年度SIP-adus施策概要

施策名

交通事故死傷者低減の国家目標達成に向けた調査・検討における交通事故死者低減効果見積もり解析手法に係る調査検討

担当組織

公益財団法人 交通事故総合分析センター

作成者名 塩田 誠

プロジェクトの目標

平成26年度施策において規定した交通事故パターン分類の集計及び分析を行い、交通事故の発生傾向の把握や、わが国で研究開発が進められている自動走行システムに関する要素技術の交通事故死者数低減効果推計に資することを本委託業務の成果の目標とする。

今年度の取組内容や結果等の概要

(1) 交通事故データの集計

警察庁から提供を受けた平成26年交通事故データを使用し、平成26年度施策にて規定した255パターンに基づき死者及び死傷者数の集計を行い、整理(交通事故パターン総括シート、パターンナンバー付与、交通事故パターンシート)する。

(2) 交通事故データの分析

平成26年度施策において具現化した調査検討成果の分析シート雛形案に基づき、平成25年・26年の交通事故データの分析を行う。なお、分析にあたっては雛形案に加え、市街地や非市街地などの位置情報に係わる項目、高速道路の逆走に係わる項目を追加する。平成26年度施策にて作成した事故パターンごとに事故内容を図示化した「交通事故パターンシート」に追加する形で分析シート雛形案を織り込む。

(3) 特定事象の追加分析

(1)(2)で集計・作成した事故パターンシート及び事故パターン分析シートをもとに、人対車両事故について詳細分析を行い人対車両事故特有の特徴や今後の分析で追加すべき内容などについて検討する

Future plan

抽出した255パターンでは死者数の約20%はカバー出来ていない。今後は、残りの死者についても安全技術の効果が見込めるか、あるいは見込めないかを振り分けることが可能な分析手法が望まれる。

事故パターンシートの分析対象は人身事故を母数としているが、事故類型によっては死亡事故になり易い事故や、逆に死亡事故になり難い事故があることに配慮する必要がある。次年度以降の分析対象は個別の事故の特定にはならないように配慮しつつ人身事故、重傷事故、死亡事故、それぞれの詳細分析シートの作成が望まれる